8/13(月) 8/14(火) 友好都市中国泉州市からの来訪団を熱烈歓迎

琉球王朝時代に浦添の察度王が中国に入貢し、泉州の港において交易を行った歴史的関係を背景に、浦添市と泉州市は昭和63年に友好都市を締結し交流を深めています。

泉州市人民代表大会代表の陳海基さんを団長に泉州市来訪団の５人が議会行政交流及び経済交流を通して友好親善を深めるため、８月13日から14日までの日程で本市を訪れました。

14日に来庁した際には、市長、市議会議長をはじめ、職員一同が心から歓迎し、会談で市長と陳さんは互いに今後も末永く両市の友好的関係の継続を約束しました。

9/5(水) 港川小、神森小 ハンドボール大会結果報告

８月２日から５日まで、京都で開催された「全国小学生ハンドボール大会」の結果を報告に、港川ハンドボールクラブと神森小学校ハンドボールクラブが市長を表敬しました。

港川小は準優勝、神森小は３位と両チームとも全国大会で立派な成績を収めました。

港川小の橋口明歩主将は「準優勝という成績が残せてよかった」と語り、神森小の仲吉朝飛主将は「次の九州大会でリベンジしたい」と市長に思いを告げました。

9/5(水) 留学で異文化を肌で感じる

浦添市中学生海外短期留学生派遣事業で、7月26日から8月23日の間、市内の中学3年生、國吉彩花さん（浦添中）、玉那覇そよかさん（浦添中）、大城　耀さん（浦添中）、松田桃千さん（港川中）、高宮優里亜さん（浦西中）の5人がアメリカのワシントン州ポートオーチャードへ短期留学しました。

帰国後、市長を表敬し、留学の成果について報告をしました。この留学で5人は語学の勉強だけでなく、異文化を肌で感じ、たくさんの経験と思い出が作れましたと報告をし、市長からは「日本語以外の語学を身につけることは将来につながります。今後も頑張ってください」と今後の5人に期待を込め、激励しました。

8/16(木) 世界の絵本、読み聞かせ

市立図書館で「おはなしのたから箱　世界の国々のおはなし　ブラジルver.」が行われました。語り部は青年海外協力隊OBの大城工さんでした。

大城さんがブラジルの公用語であるポルトガル語で１ページを読んだ後、図書館職員が日本語訳を読むという方法で、子ども達に読み聞かせを行いました。子ども達は、普段耳にしないポルトガル語に聞き耳を立てて真剣に話を聞いていました。

絵本の題名は「ちびっこサッカー」で、自分で工夫をして物事を進めることが大切であるということを伝える内容の物語でした。

8/13(月) 未来を担う中学生、市議会を実体験

中学生が模擬の浦添市議会議員として、浦添市の抱える諸課題について市長へ質問や要望をし、議会体験を通して政治、行政を学ぶ「第２回てだこ議会」が市議場で行われました。「てだこ議会」には市内の各中学校から６人ずつ30人が参加しました。

参加した中学生たちは事前に、より良い浦添市にするために自ら考えた要望や質問をてだこ議会の一般質問として市長へ投げかけ、その質問に対し、担当部署の部長が直接答弁を行いました。中学生ならではの鋭い質問もあり、実際の市議会さながらの盛り上がりをみせました。「てだこ議会」を通し、子ども達は議会制民主主義を実感し、政治に対する意識を高めた様子でした。

8/12(日) 史跡巡り、歴史の道散策

晴天の中、中頭方西海道と普天満参詣道が国の史跡に指定された記念に、市内の史跡を散策しながら歴史文化に触れる「歴史の道さんぽ」が開催されました。

ＮＰＯ法人のうらおそい歴史ガイドの皆さんが詳しい説明をしながら、市内の史跡を巡りました。全長5.8kmの道のりを180人の参加者が楽しく散策しました。

途中、各自治会の皆さんから、お茶やお菓子、てんぷらなどが振る舞われ、歴史の勉強となっただけでなく、おいしい散歩にもなりました。

9/4(火) 浦工高の写真部 輝くてだこ市民賞に

浦添工業高等学校写真部が、北海道で行われた「第19回全国高等学校写真選手権大会」通称、写真甲子園で見事に優勝しました。大会にエントリーした454校の中から本選に出場できたのは18校54人でした。

写真甲子園優勝の栄誉を称え、「輝くてだこ市民賞」に浦添工業高校写真部の幸喜ひかりさん、山城未早希さん、比嘉緩奈さんの３人が選ばれました。キャプテンの幸喜ひかりさんは「優勝することができたうえ、輝くてだこ市民賞までいただけて嬉しいです」と喜びを語りました。